



[Q] 漏れた液体からトラブルを発見するには？

[A] オイルや冷却水の液漏れは、位置や液体の種類から、故障個所をある程度判断することができます。



- FR車や4WD車で後輪車軸中央付近の液漏れは、ギアオイル漏れの可能性。
- エンジンルーム真下の漏れ跡は、冷却水を含めて広範囲の確認が必要。
- EVやPHVで電解液が漏れたら火気を遠ざけ、換気して液に触れない。

クルマは多くのフルード（オイルなどの液体）が使われています。故障やトラブルの前兆として、それらが漏れ出す可能性がありますので、液漏れの位置や液体の種類から、故障個所をある程度判断することができます。

FR（後輪駆動）車や4WD（四輪駆動）車の場合、後輪の車軸中央付近なら、デファレンシャルギアからのギアオイル漏れの可能性が高いといえます。シフトレバーのほぼ真下の場合、MT車ならギアオイル、AT車ならATFにおけるトラブルの可能性があります。

FF（前輪駆動）車は、ボンネットを開けて、エンジンが右側に位置し、液漏れの跡が左側であればトランスミッションからのフルード漏れが疑わしいといえます。もちろん、その逆もあります。FF／FR／4WD車で、エンジンルームの真下に漏れ跡があるような場合は、エンジンオイルが疑わしいといえます。ただし、エンジンルームの真下の場合、パワーステアリングフルードやブレーキフルード、クラッチフルード、冷却液の場合もありますので、より広範囲にまで確認作業を広げることも大切です。

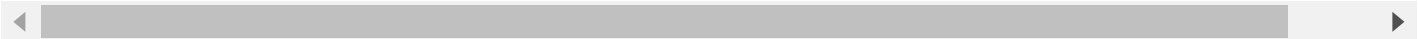
漏れている液体の種類は、主に2種類に分けられます。冷却液は、サラッとした水のような触感です。冷却水であることが分かるように、一般的には赤色か緑色に着色されています。オイル系は、ブレーキフル

クラッチフルード、ATF、パワーステアリングフルードなどがあり、エンジンルームを開け、車両の取扱説明書に記載されているそれぞれのゲージやリザーバータンクを見て、色や臭いで確認できます。どちらにせよ、液漏れが生じた場合は、整備工場で点検する必要があります。ちなみに、夏場にエアコンを使用していると車体の下に水が落ちますが、これはエアコンが車内を除湿したための排水なので心配ありません。

EV（電気自動車）やPHV（プラグインハイブリッド車）は、衝突事故を起こしたとしてもバッテリー本体から大量に電解液が流出しないよう設計されているため安全性は高いといえます。それでも万が一、電解液（無色透明で芳香臭あり）が漏れているのを発見した場合は、引火性があるため火気を遠ざけ、十分に換気を行います。劇薬であるため絶対に手で触ったりしてはいけません。身の安全を確保しJAFに救助を要請しましょう。

液体の漏れ

位置で判断する	トラブル原因
後輪左右中央	FF／4WDの場合は、リヤデフからのオイル漏れ
シフトレバー真下	MTはギアオイル、ATはATフルードの漏れ
エンジンルーム右側	ミッションオイル、もしくはエンジンオイル漏れ
エンジンルーム左側	ミッションオイル、もしくはエンジンオイル漏れ
エンジン真下	エンジンオイル、パワステフルード、ブレーキフルード、クラッチフルード（MT）からオイル漏れ
液体の種類で判断する	トラブル原因
さらっとした水	エンジンの冷却水（クーラント）の漏れ
燃料（強い臭気）	燃料ホースの破損や損傷
オイル	エンジンやミッション、各種フルードからの漏れ



2013年02月現在



参考になった



解決した



解決しなかった

その他のQ&Aを検索する

🔍 検索

＜ チャイルドシート ＜ 渋滞 ＜ 高速道路 ＜ 車庫証明 ＜ 車検

カテゴリー一覧



🔍 よくあるご質問 📄

ソーシャルメディア公式アカウント



JAF公式Facebook 📄



JAF公式Twitter 📄



📄 その他公式アカウントについて



＜ 個人情報保護方針

＜ 個人情報の取り扱いについて

＜ サイトポリシー

＜ ソーシャルメディア利用規約

＜ 特定商取引法に基づく表示

＜ 情報提供終了のお知らせ

＜ クッキー（Cookie）詳細設定

〒105-0012
東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館

© 2023 All rights reserved. 一般社団法人 日本自動車連盟 (JAF)

↑
ページ
トップへ